

## 磐田市戦没者・戦災死者追悼式「平和への想い」

平成26年8月15日 磐田市民文化会館

僕は、8月5日と6日、広島平和記念式典派遣団の一員として広島を訪ねました。この二日間で僕たちは安田女子高等学校と平和記念公園、原爆資料館を見学し、六日に行われた平和記念式典に参加しました。

まず1日目の初めに安田女子高等学校を訪問し、慰霊碑や被爆桜を見学しました。原爆が落とされた当時、安田女子高の生徒は建物疎開を行っていたそうです。しかし、300人以上の尊い命が原爆によって奪われました。

慰霊碑には、亡くなられたたくさんの方々の名前が彫ってあり、原爆の恐ろしさ、悲惨さが伝わってきました。また、安田女子高には被爆桜と呼ばれる桜がありました。被爆桜は広島市内に6つある被爆樹木の1つであり、樹齢は80年を超えています。原爆によって被爆しているにも関わらず奇跡的に今でもきれいな花を咲かせているそうです。しかし、今ではとても弱ってきています。安田女子高ではこの被爆桜を増やすことで原爆、戦争を風化させぬよう、苗木を作り、全国に届ける活動をしています。今、磐田市でも被爆桜の苗木は育てられています。磐田の人はもちろん届けられた様々な場所に平和の思いが伝わればと思います。

次に平和記念公園を訪問し、原爆ドームや平和記念資料館を見学しました。原爆ドームはとてもぼろぼろでガレキが転がっていて、原爆の恐ろしさが強く残っています。この様子は、核兵器の廃絶や平和を訴えかける大切なものであり、この先も残していかなければならないものであると感じました。また、平和記念公園には全国からたくさんの千羽鶴が届けられていました。届けられた鶴を見て、たくさんの人が原爆や平和への思いを抱いていることがわかり、嬉しく思いました。

平和記念資料館では、原爆や戦争についてのパネルや原爆によって焼けた服、被爆した人の写真などたくさんの資料を見ました。中でも、全身をやけどした人などの写真がとても印象に残っています。原爆が一瞬にしてたくさんの尊い命を奪ったとても恐ろしい兵器であり、実際に多くの一般の人が亡くなったことを実感させられました。今回の見学を通して、原爆が人々の生活や未来を壊し、広島を死の町にしたことを目で見て感じて心がとても痛みました。核兵器は人々を一瞬で殺すことができ、とても恐ろしい兵器であり、改めて廃絶しなければならないと強く感じました。

2日目は平和記念式典に参加しました。式典には国内の人はもちろん、外国からもたくさんの方が参加していました。日本から世界中に平和への思いが広がっているのだと思いました。多くの方が平和な世の中を作りたいと思っていることを知ることができて良かったです。しかし、今もなお、戦争は行われています。一人一人の命の重さと大切さを全世界のみんな考えてほしいと感じました。また、今平和に暮らしていることは当たり前のことではなくとても恵まれていることだと感じます。若い世代の僕たちに、戦争の悲惨さは分からないかもしれないけれど、69年前に起こったこのことは絶対に忘れてならないし、戦争を知らない若い世代にも伝えていかなければ

なりません。そしてもう二度と戦争を起こさないようにしなければなりません。僕はこれから平和な世の中を創っていくことを誓います。そして戦争で亡くなった方々の分まで精一杯生きていきます。

最後に核兵器も戦争もなく、全ての人々が安心して暮らすことのできる平和な生活になることを願うと共に、過去の戦争で亡くなられた多くの方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

磐田市立豊田南中学校 3年 佐藤 蓮